

津波ハザードマップ

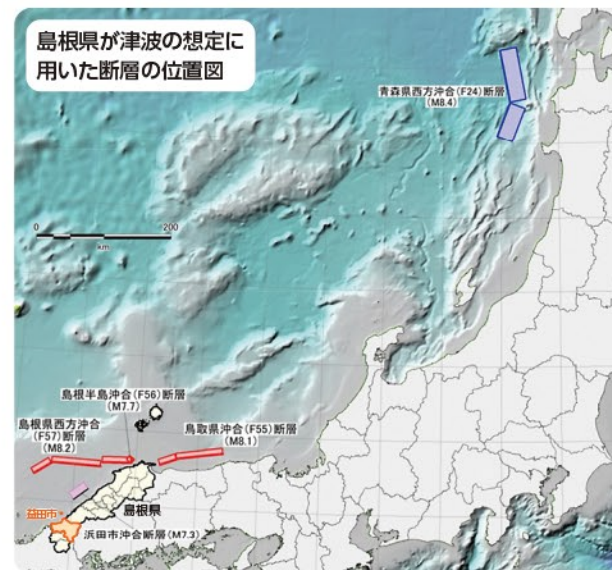
この津波ハザードマップは、島根県が公表した「津波浸水想定(平成29年3月)」及び「島根県地震・津波被害想定調査報告書(平成30年3月)」に基き、益田市に影響がある3つの海域地震を対象として「浸水域」と「浸水深」が最大となるよう重ね合わせ、建築物等への衝突による津波の水位上昇(せり上がり)を加えた「津波災害警戒区域(令和5年3月)」を示しています。

想定では最大クラスの津波が発生した case としていますが、最大クラスの津波とは、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、これより大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

●益田市に影響がある3つの海域地震

想定地震名	地震の規模 (Mj)	津波到達 代表地点	津波最高 水位	最大波 到着時間
青森県西方沖合(F24)断層の地震	8.4	土田漁港	2.28m	3時間16分
島根県西方沖合(F57)断層の地震	8.2	土田漁港	3.48m	47分
浜田市沖合断層の地震	7.3	土田漁港	1.22m	22分

Mj: 気象庁マグニチュード

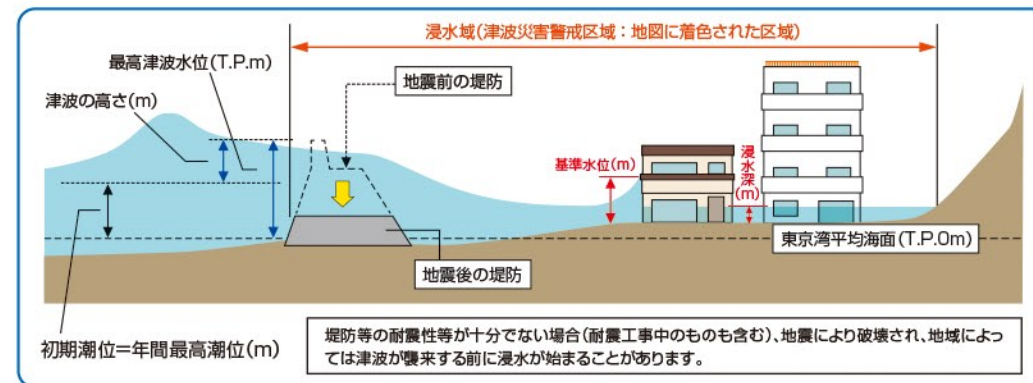


津波について

●津波の特徴

- 津波は膨大なエネルギーです。普通の波とは違い、津波は海底から海面までの海水全体が「巨大な水のかたまり」となって押し寄せてきます。50cmの津波でも立っていられなくなり、1mを超えると家屋に被害が出始めます。
 - 津波は何度でも繰り返し襲ってきます。津波は、長い場合は1日以上にもわたって何度も繰り返し襲ってきます。また、第1波が最大とは限りません。
 - 海辺以外でも注意が必要です。津波は陸地や川を遡上します。海辺以外の場所でも津波警報・注意報に注意しましょう。
- ### 津波の浸水想定
- The diagram illustrates the estimated inundation area for a tsunami. It shows a cross-section of the coastline with a building and a '事前の堤防' (Pre-existing dike). A red arrow indicates the '浸水域(津波災害警戒区域: 地図に着色された区域)' (Inundation area (Tsunami disaster warning area: area shaded on the map)). Labels include '最高津波水位(T.P.m)' (Maximum tsunami water level (T.P.m)) and '津波の高さ(m)' (Tsunami height (m)).

津波の浸水想定



●用語の解説【浸水想定について】

- 浸水域

海岸線から陸域に津波が遡上した外縁までの範囲

● 津波災害警戒区域

最大クラスの津波が発生した場合に、住民等の生命、身体に危害が生じるおそれがある区域で、津波災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域

● 浸水深

陸上の各地点で水面が最も高い位置にきたときの地面から水面までの高さ

- 基準水位

浸水深の水位に、建築物等への衝突による津波の
水位上昇(せり上がり)を加えた水位

●津波注意報・警報・大津波警報の発表基準

津波予報の種別	予想される津波の高さ		とるべき行動	想定される被害
	数値での発表(発表基準)	巨大地震の場合の表現		
大津波警報	10m超 (10m>高さ) 10m (5m<高さ≤10m)	巨大	沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれる。
津波警報	5m (3m<高さ≤5m)	高い	ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう。	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生する。人は津波による流れに巻き込まれる。
津波注意報	3m (1m<高さ≤3m)	表記しない	海の中にいる人は、ただちに海から上って、海岸から離れてください。津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近づいたりしないでください。	海の中では人は速い流れに巻き込まれる。海難いかなだか流失し、小型船舶が転覆する。

地震の後しばらくは、気象庁が発表する情報に注意!

- 震源が陸地に近いと津波警報が津波の襲来に間に合わないことがあります。「揺れたら避難」を徹底しましょう。
- 津波は沿岸の地形などの影響により局所的に予想より高くなる場合があります。より高い場所を目指して避難しましょう。
- 地震発生後、予想される津波の高さが20cm未満で被害の心配がない場合、または津波注意報の解除後も海面変動が継続する場合
には、「津波予報(若干の海面変動)」を発表します。

●避難時に注意すること

海岸近くで地震を感じたら直ちに高い所へ避難!!

強い地震(震度4以上)や、長い時間の揺れを感じたら、直ちに海岸から離れ、急いで高台などの安全な場所へ避難しましょう。

津波は繰り返し襲ってきます!

第1波よりも第2波、第3波の方が高くなる場合があります。荷物を取りに戻ったり、様子を見るために海岸へ近寄ってはけません。

揺れが小さくても油断しない!

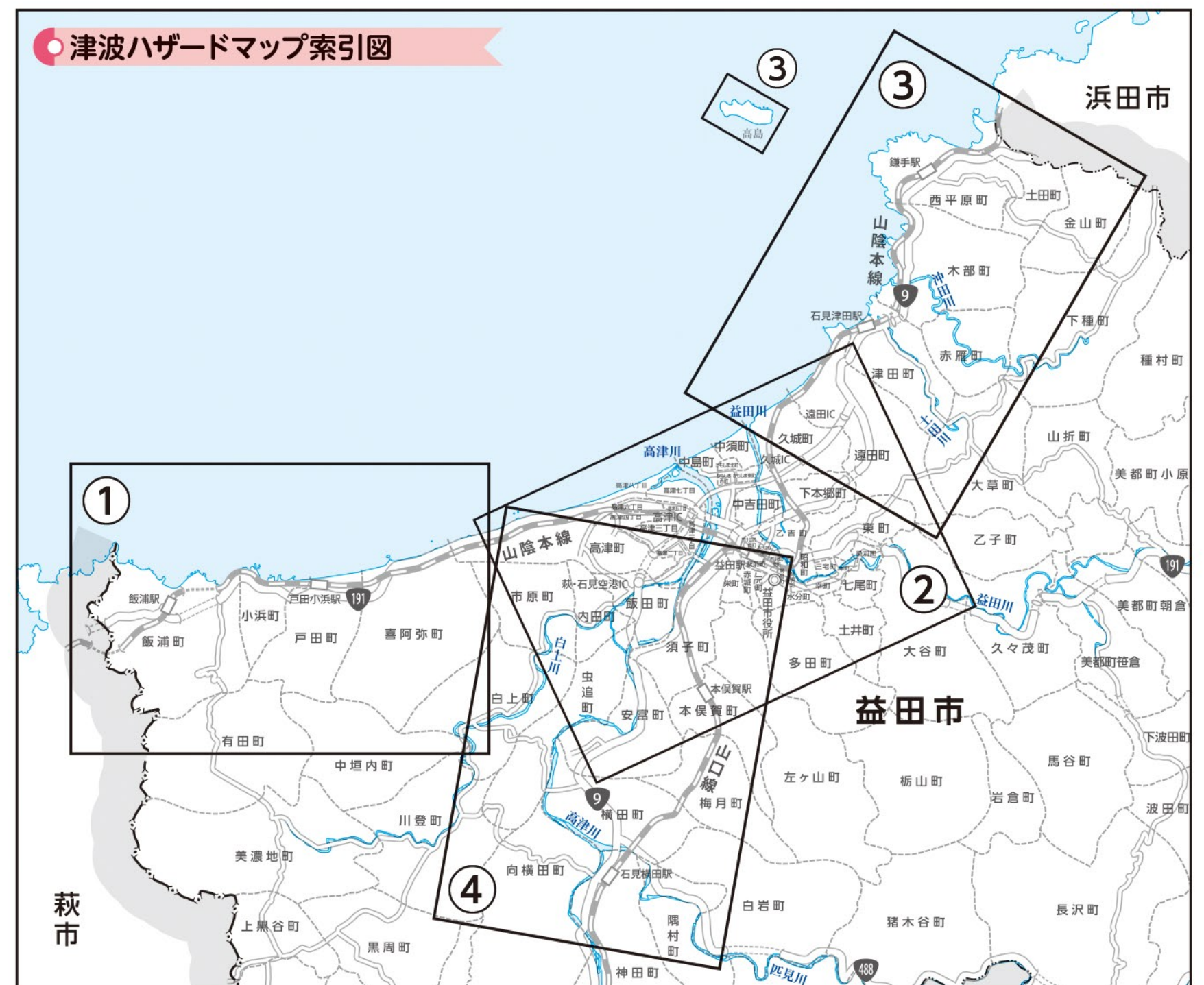
揺れが小さくても津波が来ないとは限りません。震源の位置や津波注意報など、正確な情報を収集しましょう。

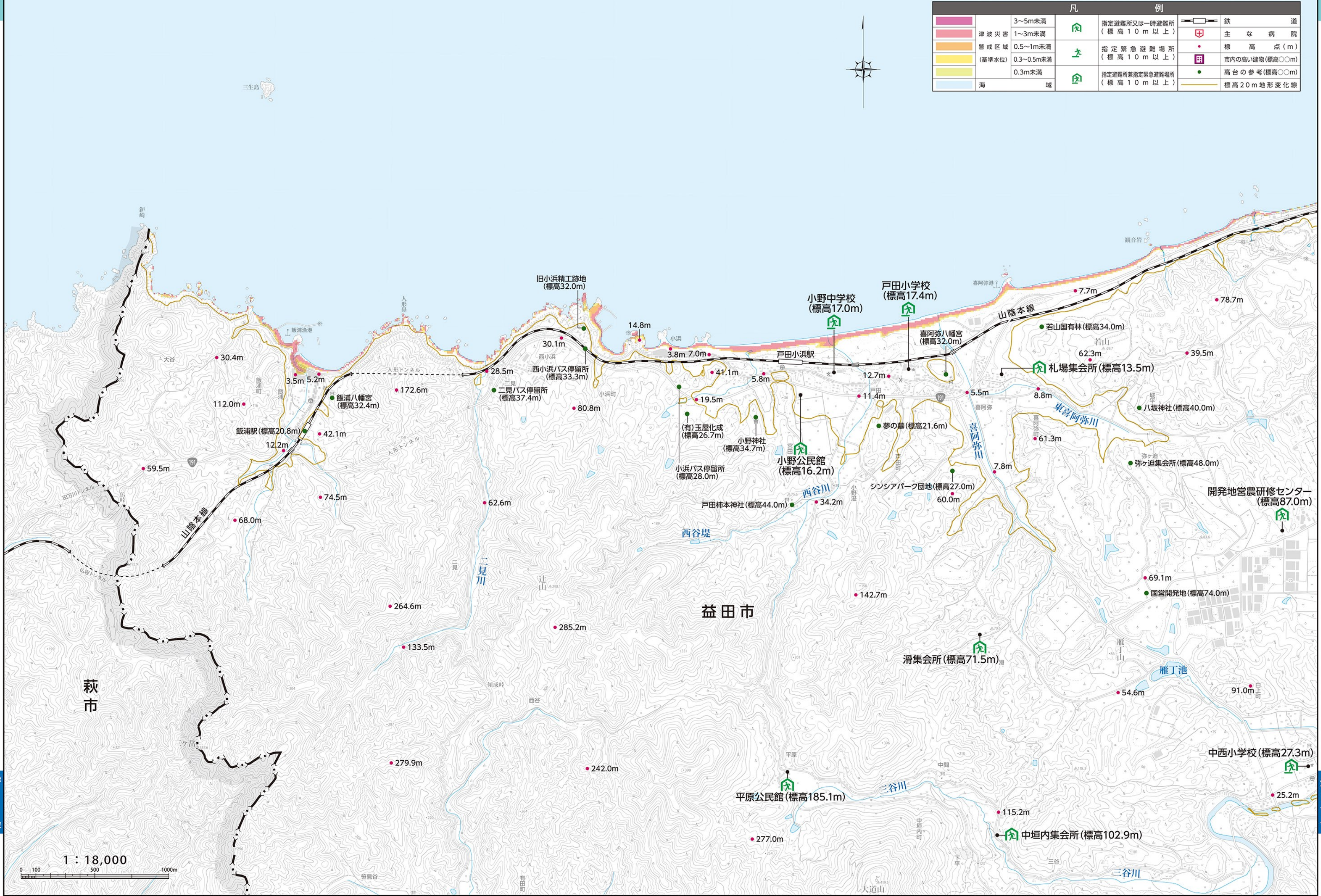
● 地図の説明

- **高台の参考** ———— ここに示す高台は参考であり、必ずしもこの場所に避難しなければならないということではありません。
大津波警報が発令された場合、最善を尽くして、最寄りの高台に避難することが大切であり、避難した先が高い所であれば場所にこだわることはありません。できればさらに高い場所に移動できる所が望ましいです。
- **市内の高い建物** ———— 市内の高い建物は、高台まで避難する時間がない(津波に追いつかれてしまう)場合に避難する所であり、できるかぎり高台に避難することが望ましいです。(地図上の標高は、屋上の標高を表示しています。)
- **標高20m地形変化線** ———— 標高の目安として表示したものであり、20mより高い所の人は避難なくともよいというものではありません。
- **避難所及び避難場所** ———— 標高10m以上の施設を表記しています。

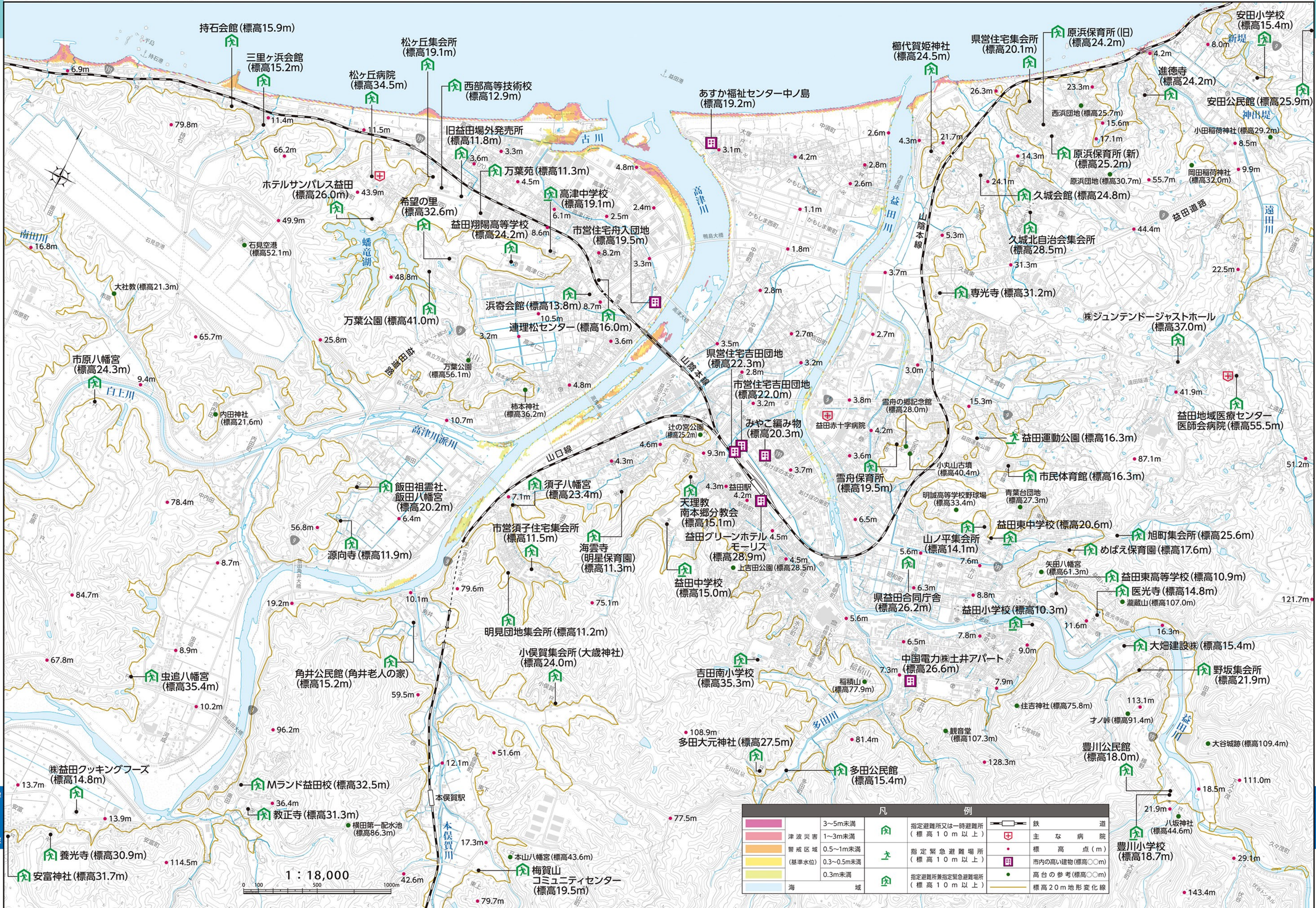
津波浸水想定区域	
	3.0～5.0m未満の浸水が予想される区域
	1.0～3.0m未満の浸水が予想される区域
	0.5～1.0m未満の浸水が予想される区域
	0.3～0.5m未満の浸水が予想される区域
	0.3m未満の浸水が予想される区域
標高20m地形変化線	
—20—	

津波ハザードマップ索引図

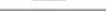




津波ハザードマップ②



津波ハザードマップ③

凡			例			
	津波災害 警戒区域 (基準水位) 海	3～5m未満		指定避難所又は一時避難所 (標高10m以上)		鉄道
		1～3m未満				主な病院
		0.5～1m未満		指定緊急避難場所 (標高10m以上)		標高点(m)
		0.3～0.5m未満				市内の高い建物(標高〇〇m)
		0.3m未満		指定避難所兼指定緊急避難場所 (標高10m以上)		高台の参考(標高〇〇m)
					標高20m地形変化線	



津波ハザードマップ④

凡		例	
	津波災害	3～5m未満	
	警戒区域	1～3m未満	
	(基準水位)	0.5～1m未満	
		0.3～0.5m未満	
	海	0.3m未満	
		指定避難所又は一時避難所 (標高10m以上)	
		指定緊急避難場所 (標高10m以上)	
		指定避難所兼指定緊急避難場所 (標高10m以上)	
		鉄道	
		主な病院	
		標高点(m)	
		市内の高い建物(標高〇〇m)	
		高台の参考(標高〇〇m)	
		標高20m地形変化線	

